

“寝たきりをつくらない!!”

～身体を健康を支援する精神科作業療法～

日時: 2020年2月9日(日)9:15～受付

会場: アクティ奈良(近鉄奈良駅から徒歩1分)

資料代: 1,000円 ※日本作業療法士協会・都道府県作業療法士会員対象。

① 9:30～10:30 「精神科における身体障害のとらえかた」



精神科薬による錐体外路症状や、脳器質の影響による身体機能障害について触れ、精神科臨床における身体機能障害の捉え方を講義していただく。

～講師略歴～

秋津鴻池病院で身体障害領域の作業療法士として勤務していた。精神科一般病棟や認知症病棟の入院患者のリハビリテーションにも従事していた。奈良県士会では、認知症支援委員として、県内市町村を回っている。認知症をテーマに研究をしている。

坪内善仁 先生
(奈良学園大学 助教)

② 10:30～11:30 「精神科作業療法で使える身体機能訓練」



身体機能を維持・回復するために必要となる訓練、その訓練に必要な要素について触れ、精神科作業療法で使える訓練の考え方について講義していただく。

～講師略歴～

秋津鴻池病院で身体障害領域の理学療法士として勤務している。日本PT協会では、精神・心理領域理学療法部門に所属しており、精神科病棟における理学療法を推進している。療養病棟での集団運動療法について介入研究をしている。

石橋雄介 先生
(秋津鴻池病院 理学療法士)

③ 11:30～12:00 「精神科臨床現場の身体障害に関するQ&A」

受講者からの質問について、講師のお二人に回答をしていただきます。

～本研修会開催の背景～

近年、精神科の医療・福祉において、入院患者の高齢化、認知症高齢者の増加に伴い、身体障害を併せもつ方への対応を求められている。精神科作業療法士には、対象者の心理面だけでなく、身体やADLを診る力も求められている。しかし、精神科作業療法士の多くは、身体機能に関する知識と技術に乏しいため、必要に応じた対応をできていないことが問題となっている。本研修会開催の目的は、精神科患者の寝たきりをつくらないことであり、精神科作業療法士には、その知識と技術を身につけるきっかけとしてもらいたい。



申込みは下記URL、もしくはQRコードからお願いします。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd67CIpPKEAtsBbRuS828zhd5UyL7QkesNoYq-AhE5MvdvdtQ/viewform?vc=0&c=0&w=1&usp=mail_form_link

【お問い合わせ】

秋津鴻池病院 リハビリテーション部
木納潤一
psy-ot@kounoikekai.com